

# わが道場支団のヒーロー

〔執筆〕北消防団道場支団

吉尾 仁

神戸市北消防団道場

支団は、市の北東に位置する道場町を管轄区域としています。

消防団の組織の歩みをご紹介しますと、明治16年、道場村消防組として発足。昭和14年に道場村警防団、23年に道場村消防団、26年には神戸市に合併となり、神戸市道場消防団となりました。その後、北区道場消防団を経て、現在の神戸市北消防団道場支団へと名称が変わりました。有事の際には、隣接している三田市、宝塚市、西宮市と協力し合うことも



北消防団道場支団第3分団  
分団長 小坂 郁雄 さん



あります。

さて、長い歴史のある道場支団の中で今回ヒーローとして紹介するのは、道場支団第3分団、小坂郁雄分団長です。

第3分団の管轄はJR道場駅の周辺で、ハイカーにも人気の山々に囲まれた非常に自然豊かな地域です。災害の事例としては、林野火災、遭難者の捜索、滑落者の救出など、多岐にわたっています。

小坂分団長はこの地域に生まれ育ち、昭和58年消防団に入団されました。そして勤続26年を迎えられる現在も、日夜消防団活動に精励されています。

副分団長を務めておられた平成16年、第20回兵庫県消防操法大会に向けての練習の際には、練習内容、選手のための後方支援体制など、活発に発言し、選手だけでなく全団員が

一致団結するよう、裏方に徹して大会を盛り上げてくださいました。

身長190センチ、体重113キロの巨漢ではありますが、ポンプ操法、市民救命士講習などでも率先して行動され、分団員からの人望も厚い、文字通り大きな存在であります。また、今年1月には、北区内での永年の消防団活動に対しての功績が認められ、「北防災の賞」を受賞されました。

平成17年より分団長を務められ現在に至っていますが、分団員の確保が難しい状況が続き、消防団活動にも影響が出始めています。

そのため、頭を悩まされています。しかし、小坂分団長が率いる第3分団は、少数精鋭の分団として地域住民の安心安全のため、これからも尽力され活躍されることでしょう。

